

第2回 神経難病における音楽療法を考える会

「神経難病における音楽療法を考える会」の概要

筋萎縮性側索硬化症やパーキンソン病などの神経難病をもつ患者さんに対して音楽がどのような効果をもち、音楽療法として用いることができるかどうかを考える会です。

このたび、厚生労働省「特定疾患の生活の質（Quality of Life:QOL）の向上に資するケアの在り方に関する研究班」（H14年度～16年度）（主任研究者：中島孝）の支援を受けて、この会が企画されました。

医療福祉従事者、音楽関係者、神経疾患をお持ちの方、ご家族など、神経難病のケアや音楽療法に関心のある方ならどなたでも参加いただけます。

開催者	神経難病における音楽療法を考える会 代表世話人：近藤 清彦（公立八鹿病院） 厚生労働省「特定疾患の生活の質の向上に資するケアの在り方研究班」 （H14年度～16年度） 主任研究員：中島 孝（独立行政法人国立病院機構新潟病院）
後援	第23回 日本神経治療学会 会長：葛原 茂樹（三重大学神経内科教授） 大会ホームページ： http://www.medic.mie-u.ac.jp/s-jsnt05/
開催日時	2005年6月10日（金）17:30 - 20:00 （第23回日本神経治療学会終了後）
場所	鳥羽市民文化会館（ 地図 ） JR・近鉄鳥羽駅下車 徒歩10分 〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽3丁目8番3号
参加対象者	難病に関わる保健医療福祉従事者、音楽療法士、一般の方
参加費	1000円（当日受付可）
詳細案内	詳細、 宿泊先案内 （プリマツアーズ株式会社）は、事務局 公立八鹿病院 ホームページ上にてご案内。

特別講演

座長 北海道医療大学教授 田代 邦雄

『歌うとなぜ「心と脳」にいいか?』 大島 清 先生

略歴

京都大学名誉教授、愛知工大客員教授。
生命の不思議を追求し、やさしく説いて聞かせる医学博士。
1927年広島県生まれ。東京大学医学部卒業。
京都大学霊長類研究所教授を経て1990年から名誉教授。
愛知工業大学教授を経て、現在客員教授。
専門分野は生殖生理学、大脳生理学。



演題

座長 脳血管研究所附属美原記念病院院長 美原 盤

- 1) 「東北大学病院音楽療法室の試み」
東北大学病院 音楽療法室 室長 市江 雅芳
- 2) 「本町クリニックでの音楽療法」
本町クリニック ○服部 優子
音楽療法士 小川 尚子
加藤 美砂
- 3) 「矢津クリニックにおける神経難病患者に対する在宅音楽療法について」
医療法人矢津内科消化器科クリニック 認定音楽療法士 ○永野 裕見子
院長 矢津 剛
- 4) 「音楽療法を利用した神経難病ボランティア育成の試み」
国立病院機構新潟病院 医療社会事業専門員 ○三浦 修
看護師長 岩崎 文子
看護副師長 桑原 和子
コーディネーター 小黒 須美子
副院長 中島 孝
- 5) 「患者と家族から音楽療法に期待すること」
日本 ALS 協会東京支部 NPO法人さくら会理事 川口 有美子

申込方法

参加希望者は 氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号かFAX番号(返信先)、Eメールアドレス 所属 を明記の上、
「公立八鹿病院 音楽療法室」(木村宛)まで、
E-mail (music@hosp.yoka.hyogo.jp) または、FAX (079-662-3134) にてお申し込みください。なお、電話でのお問い合わせはご遠慮ください。

事務局

〒667-8555 兵庫県養父市八鹿町八鹿 1878-1
公立八鹿病院 音楽療法室 (担当: 木村 百合香)
TEL: 079-662-5555 (代) FAX: 079-662-3134
E-mail: music@hosp.yoka.hyogo.jp